



信州の未来を創造する測量設計



写真提供：初冬の白馬連峰
和田 賢治

目次

● 会長 年頭のあいさつ	1p
● 令和4年度協会活動	2p
● 協会・委員会活動について	15p
● 会員名簿	18p
● トピックス	20p
● 編集後記	裏表紙

会長 年頭のあいさつ



一般社団法人
長野県測量設計業協会
代表理事 佐藤 芳明

今年は、飛んで！ 跳ねて！ 飛躍する

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎
えのことと心よりお慶びを申し上げます。

旧年中は当協会に対しまして格別のご支援を賜
りました。行政機関をはじめとする関係各位に厚く
お礼申し上げます。

協会も創立50年を超えました。今後はステップア
ップした事業を実施したいと考えています。コロナ
の感染が広がり、県では「医療非常事態宣言」が
発出されている今日ですが、参加人員の抑制、活動
内容の見直し、実施時期の変更等の工夫をして活
動をして参ります。

さて、昨年を振り返りますと台風14号、15号の暴
風雨等により、静岡県、宮崎県、山口県などで激甚
災害が発生をしております。県内でも一部の地域で
被災し、地域の協会員が復旧に向け努力されまし
た。毎年5月に実施し、370名を超える技術者が学
んでいる「災害復旧事業技術者講習会」の重要性
を近年特に感じております。

国際情勢では、ロシアのウクライナ侵攻が長期
化しております。映像でしか知ることはできません
が、軍事力のぶつかりは悲劇でしかありません。厳
しい冬を迎え、ロウソクの炎ひとつで夜を明かし、
寒さに震える子供たちの姿は見るに堪えません。1
日も早く戦闘が終わること願っています。

長野県では全国に先駆け、大学や先端技術を有
する企業と連携し、信州BIM/CIM推進協議会を
立ち上げ問題点を探るとともに、将来のあり方を検
討しています。体制強化のため協議会内に部会と
推進委員が設置されました。

協会からも12名が部会員及び推進委員として参
加をいただいています。さらにより具体的な課題を
検討するための実務者会議も置かれ、その成果に
期待をしております。

さて、協会活動における重要課題は、若手技術
者の確保、育成、有資格者の増員です。県のご指
導、協力をいただきながら、技術系高校での三次
元測量の校内研修、長野高専では実際の現場で
のTS測量の授業の講師を行い、業界への入職をア
ピールしました。このような活動を続けてきたこと
で会員数社に若手が入職しています。また、昨年は
SBC放送の防災・減災キャンペーンに賛同し、テレ
ビ、ラジオで協会オリジナルのスポットCMを放映し
知名度アップに努めました。

会員育成事業である測量士、測量士補の受験事
前講習会には、県内各地から100名を超える技術
者の参加を得て実施し、例年以上の合格者を出す
ことができました。また、県の入札要件にもなって
いる地理空間情報専門技術講習会（写真測量B
課程Ⅰ・Ⅱコース）及び同認定試験を長野市、飯田
市で実施し、70名を超える技術者の参加をいた
だいています。

協会では、本年もあらゆる機会を活用し、会員各
位の現状を訴えながら、協会の皆様とともに歩ん
で参ります。今後も私共は地域に生きる企業として
責務を果たして参ります。信頼いただける組織とし
てこれまで以上に研鑽努力を重ねますので、一層
のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

末筆になりましたが、本年の皆様のご多幸をご
祈念申し上げあいさつと致します。

北信支部活動

北信支部長 駒村 信夫

長野県建設技術実践プロジェクト事業に伴う長野工業高等学校技術支援

北信支部技術委員長 白田 裕一

【日時】 令和4年6月13日～10月17日

【場所】 (一) 裾花川河川敷

北信支部では、本年度も長野県建設技術実践プロジェクト事業に伴う技術支援として、長野建設事務所から依頼を受け、長野工業高等学校土木科3年の課題研究授業における「設計班」及び「施工班」の測量分野の技術指導を行いました。本年度は、一級河川裾花川右岸あやとり橋～長安橋区間の河川敷ウォーキングロード計画を目的とした路線測量を課題として、6月13日から10月17日までの期間（全10回）で実施しました。



課題研究は、実践的な技術（業務遂行）の体験実習であるため、課題への取組みに先立ち「測量学」や

通常授業で経験する「測量実習」で学んだことが実際の測量現場（業務としての測量）でどう実践されているか、また近年業務において導入が進む三次元測量について講義しました。

路線測量は、4名ずつの小班に分かれ既往基準点に基づきトータルステーションを用いた中心線（測点）及び横断方向点の設置測量、仮BM点を既知点としてレベルを用いた縦断測量、またトータルステーションを用いた間接測量による横断測量を実施しました。現地作業では、各小班に指導員を置き、観測時の重要ポイントや作業の効率化のアドバイスをを行い、実際の測量現場での実践的な測量作業を体験してもらいました。横断図作成にあたっては、成果図面としての体裁（配置や記載すべき事項）を指導し、設計業務の基礎資料となる測量成果図面を作成しました。

生徒たちの頑張りもあってスムーズに作業が進み、予定していた課題を時間内に全て終了しました。最後に、技術者としての心構えや自己研鑽（資格取得等）について、これから巣立つ若手技術者に求めるもの、期待していることを総括として話し、測量分野の技術指導を終了しました。



就労支援事業に伴う中野立志館高等学校実習(地上型3Dレーザスキャナ講座)

北信支部副支部長 伊藤 裕

【日時】令和4年9月28日

【場所】中野立志館高等学校敷地内

【参加生徒数】15名

【時間】12時40分から16時20分まで

あいさつ 北信建設事務所 主任技術専門員

原田 義久

長野県測量設計業協会北信支部副支部長

伊藤 裕

自己紹介 株式会社伊藤測量設計 測量士 中島 伸哉

測量士 古越 聡

【実習内容】

① 実習:12時40分から14時30分

・レーザスキャナの解説

- ・地上3次元レーザスキャナとは
- ・レーザスキャナと標定点の設置
- ・レーザスキャナで観測できないもの
- ・地上レーザスキャナのメリット

② 授業:14時40分から16時20分

3次元処理ソフトを使用した実習

- ・実習で取得したオリジナルデータの確認
- ・フィルタリング処理
- ・地形モデルの作成
- ・縦横断面図の作成
- ・数値地形図の作成



就労支援事業に伴う長野工業高等学校 業界・企業説明会

北信支部

【日時】令和4年11月29日

【場所】長野工業高等学校

長野工業高等学校より「業界・企業説明会」への講師派遣の依頼を受け、11月29日に土木科2年生に向けて測量設計業に関する説明を行いました。「業界・企業説明会」は、土木に関する様々な業界の様子を知り2年生のこれからの就職活動に向け進路選択の参考となるよう実施しています。

測量設計業は、土木事業の「測量→設計→施工→維持管理」という流れのどの段階においても必要となる技術分野であり、社会資本整備を支える重要な役割を担っていることをお話ししました。地元企業は、道路や河川、砂防施設等の整備、また災害時の対応など測量・設計・調査の分野で地域に密着した業務を担っており、質問への回答を交えつつ自分たちの成果が地域(利用者)にどう受け入れられているかを肌で

感じられる「やりがいのある仕事」であることをアピールしました。

若手技術者たちが、我が業界（協会）の次世代を担っていくことを切に願うところです。



国立長野工業高等専門学校測量実習支援

北信支部副支部長 安藤 達也

【日時】 令和4年11月10日

【場所】 松川、千曲川合流部

令和4年11月10日に小布施町大島区公会堂及び小布施町の松川、千曲川合流部にて40名（うち女子16名）の国立長野高専環境都市工学科の3年生を迎えて測量実習が行われました。

大島区公会堂では、開校式として当協会の佐藤会長、野々口須坂建設事務所長、長野高専の大原先生の挨拶に続き「令和元年の千曲川水害と復旧対策」と題し、国土交通省千曲川河川事務所の寺田副所長様より講義をしていただきました。



現地では小春日和の中、6班に分かれて各班ごとに土木・環境しなの技術支援センターの指導員及び協会の技術委員、北信支部会員の指導の下、河川縦横

断測量が行われました。

また、最新技術の紹介ということで、地上レーザースキャナーとUAVレーザースキャンの体験も行われました。



長野高専の学生の皆さんは真面目で、真剣に測量実習に取り組んでいる姿を見て、指導する協会員としてやりがいを感じることができました。将来この学生の中から1人でも多くの方が測量設計業に進んでくれることを期待したいと思います。

最後に、講義をいただいた千曲川河川事務所の関係各位、直接指導にあたった土木・環境しなの技術支援センター及び協会員の方々、須坂建設事務所の関係各位、長野高専の先生方のご協力のおかげで無事測量実習が終了できたことに感謝申し上げます。



就労促進への取り組み

東信支部長 小池 文人

災害対応とBIM/CIM対応について

東信支部 山本 元栄

【日時】令和4年7月28日(木)

【場所】佐久合同庁舎 5F講堂

【協力】長野県建設部 佐久・上田建設事務所

東信支部管内で活動する会員各社の技術力の研鑽を行い、地域的な課題など受発注で意見交換等を行い地域社会の発展に資することを目的に本年度は、再度災害発生からの対応の流れの再確認と長野県で取組が進むBIM/CIM対応についての研修会を実施しました。

災害緊急調査初動から復旧業務までの過程について、令和元年19号台風災害をもとに、事例紹介と説明いただきました。

2. BIM/CIM対応について

講師：長野県建設部 技術管理室 主査
太田 好宏

3次元測量における、UAVレーザ測量・地上レーザ測量の留意点について説明いただきました。



1. 災害対応

講師：佐久建設事務所
整備課課長補佐兼整備第二係長
岡部 朋子



3. BIM/CIM事例報告

講師：(株)タイヨーエンジニア 橋元 宣明
飯田建設事務所管内の道路改良事業の事例報告を受け、今後の業務取組において参考となりました。



【日時】 令和4年11月9日（水）

【場所】 丸子修学館高校

【参加数】 工業分野、土木測量受講3年生25名

【実施内容】

1. 野外学習：地上レーザスキャナーによるデータの取得
一人一人に操作方法が説明できるよう生徒を4班に分け、地上レーザ機器も1班1台となるよう4台を準備しました。機器の説明と実際に観測作業を実施しましたが、地上レーザに関する考え方や疑問点等の質問が多く出され、講師の協会員も丁寧な説明を行ったため、その後の野外学習時間にしわ寄せが及んでしまい、最後は2人で交互に操作を行う班もありました。
2. 室内学習：3次元点群データ処理等の実習
野外で取得したデータをもとに、3次元点群データ

処理ソフトウェアについて操作説明を行い、取得データを使って計測対象物の形状測定や、3次元モデル作成等の作業を行いました。しかし、そのデータ処理操作等には実習生個々の対応力の差異が見られました。



中信支部活動

中信支部長 坪井 利幸

高校生就労支援事業に伴う南安曇農業高等学校測量・設計実習

総務広報委員 谷本 直樹

【日時】 令和4年6月17日・24日・7月1日

【場所】 南安曇農業高等学校敷地内

【実習内容】

- ① TS地形測量、縦横断測量実習
- ② 測量ソフトによる座標計算、CADを用いた測量図作成
- ③ CADを用いた歩道設計実習（平面図、縦断図、標準横断図）

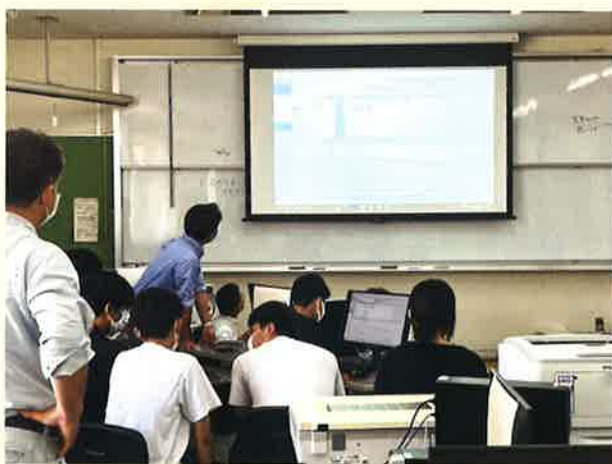
令和4年6月17日・24日、7月1日の3日間にわたり、南安曇農業高等学校で授業の一環として測量設計の実習を行いました。



【TS測量屋外実習の様子】



【TS測量屋外実習の様子】



【測量ソフトによる室内実習の様子】

東信支部研修旅行

東信支部 清水 博志

【日時】 令和4年9月16日・17日（金・土）

【場所】 国会議事堂・国立競技場・靖国神社
伊能忠孝記念館・地図と測量の科学館

国会義堂等の見学、伊能忠孝記念館や地図と測量の科学館では、改めて測量技術の変遷・進化を研修することができ、大変有意義な研修となりました。



・写真左の桜（ソメイヨシノ）は、靖国神社内にある東京管区気象台が開花を観測するため指定した「標本木」である。

登録博物館
伊能忠敬記念館



当館所蔵の「伊能忠敬関係資料」2345点は平成22年6月29日 国宝に指定されました。



長野県建設技術実践プロジェクト事業に伴う南安曇農業高等学校測量実習

総務広報委員 谷本 直樹

【日時】令和4年10月6日(木)

【場所】南安曇農業高等学校敷地内

【参加数】環境クリエイト科2年生の生徒41名

【実習内容】測量実技

令和4年10月6日に南安曇農業高等学校講習会南安曇農業高校環境クリエイト科2年生の生徒41人を対象に、測量講習会を行いました。

この講習会は測量実務に関する室内講義と現場実習を通じ、測量の実務内容や最新測量機器の取り扱い方法等を習得してもらうことを目的として開催しており、新型コロナの影響等より4年ぶりの開催となりました。

今回は25人の中信支部会員が講師となり、GNSS測量や路線測量、平板測量などの技術指導の他、ドローンのデモフライトなども実施しました。

今回の経験を通じて、将来の進路を決める時の選択肢のひとつになるように、次世代を担う測量技術者がこの生徒の中から多く育ってくれることを願います。

多くの協力者のお陰で無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。



【路線測量実習の様子】



【平板測量実習の様子】



【GNSS測量室内講習の様子(鳴会館)】



【ドローンデモフライトより生徒の様子】

南信支部活動

南信支部長 福澤 浩

南信支部の「就労促進への取り組み」

南信支部

(一社)長野県測量設計業協会南信支部では、平成20年度に南信地域の実業高校を中心に高校教諭との意見交換会を実施し、実業高校が抱える問題及び測量設計業界が抱えるそれぞれの問題点について議論しました。

その中で実業高校の問題点として、生徒の出口(卒業後の進路)問題、実習用機材の問題(機材の老朽化、最新機材の不足)等の問題点が浮き彫りにされました。

また、南信支部側からは業界における技術者の高齢化と若手技術者の建設産業離れ、若手技術者育成の難しさ等いくつかの問題点が抽出されました。

これを受けて、当協会の「地域を支える調査・設計業」(調査設計業の将来のあり方)検討委員会では、問題解決に向けての方策が検討されてきました。

そのような背景の中で、(一社)長野県測量設計業協会では、建設系実業高校の学生を対象とした実習教育の協力等により測量設計業の魅力や業界の必要性の認識を深め、意識高揚を図る事業を「年間事業計画」の重要項目として取り組んできました。

当協会南信支部もこれに対応すべく、申し出のあった上伊那農業高校、飯田OIDE長姫高校、富士見高

校との調整を図りながら測量実習を毎年実施してきました。

就労促進事業は、当協会として長野県建設部建設政策課に全面的に協力して、次世代を担う建設技術者の育成のための講習を行うものです。

出前講座を含める今回の数々の測量実習講座は、建設系高校生の就労促進の取組みとして、当協会員が担当する調査・測量・設計部門の中でも測量業務に特化して技術講習を行っています。測量・設計業務の概要、最新測量機器の説明と取り扱い方を中心に講義を行い、建設系高校生の測量設計業への就労拡大に結び付けることを目的としています。

また、高校生のみならず小学生にも将来の職業選択の一つに「測量設計業」を加えてもらうべく、6年生に図形の拡大縮小と地形図、測量器を使用した拡大図の作成講座を続けています。

さらに加えて、令和3年度からは信州大学農学部内川准教授より、農学生命科学研究科の学生に、「3Dを利用した測量・設計」について出前講座の要請があり、学生に対する出前講座が実現し、今年度も継続します。

高校生就労支援事業に伴う飯田OIDE長姫高等学校測量実習

南信支部

【日時】令和4年7月15日

【場所】飯田OIDE長姫高等学校敷地内

飯田地区の会員企業に多くのOBが在籍する飯田OIDE長姫高校の測量実習は、当初OBが後輩のために実習に協力する形で始まりました。現在は、(一社)長野県測量設計業協会南信支部飯田地区の会員企業がそれぞれ機材を持ち寄って、実習に協力しています。

コロナ禍の中、今年も感染予防を十分にして実習を

行いました。

GNSSを用いた衛星測位システムの体験や、UAVを用いた空中からのレーザー測量を体験して、生徒は測量業界に興味深々といった感じです。

来年度も多くの若手職員が飯田OIDE長姫高校から飯田地区の各社に入社してくれることを期待します。



道路中心線の設置風景



3Dレーザースキャナーの説明

長野県建設技術実践プロジェクト事業に伴う上伊那農業高等学校測量実習支援

南信支部

【日時】 令和4年11月2日

【場所】 伊那市春日公園

長野県建設部と(一社)長野県測量設計業協会、長野県建設業協会では、官民協働による建設産業への人材確保に向け、建設系学科高校生等を対象とした就労促進の取組みを実施してきました。

この取組みの一環として、(一社)長野県測量設計業協会南信支部の会員が上伊那農業高等学校コミュニティデザイン科3年の生徒を対象に測量実習を実施しました。

これは伊那市役所所管の春日公園内の噴水施設跡地整備計画策定のために必要な現況地形測量、縦断測量、横断測量を実習として行ったものです。

(一社)長野県測量設計業協会南信支部は現況地形の取得のために、基準点設置・平面測量・縦断測量・横断測量を実施し、後続作業としては長野県伊那建設事務所職員による公園設計指導・工事費積算、長野県建設業協会伊那支部による造成工事となります。

伊那市で開催されたデザインコンペにより採用されたILBによる整備工事は順調に進んでいるようです。



横断測量実施状況



インターロッキング敷設と水路工事中!

信州大学農学部農学生命科学研究科 ICT研修会

南信支部

【日時】令和4年12月1日

【場所】信州大学農学部キャンパス

信州大学農学部内川准教授から、「産学官のそれぞれで建設人材不足が課題であり各々での対応だけでなく、総力での検討が必要である。信州大学では、公務員や民間企業幹部候補となる高度専門技術者を輩出するため、令和3年度後期に向けて、行政や民間が連携した演習・講義を検討したい。人材を育成するためには学生に発信するための建設業界の将来ビジョンが必要であり、関係者が話し合う勉強会を行い、ビジョンを作成し、共有すべき。」との提案をいただき、(一社)長野県測量設計業協会南信支部と長野県建設業協会伊那支部が協力して演習を実施しています。

学生からは、「演習が第Ⅱ部に移行し、施設の設計に必要な土木技術を学ぶ段階に入った。

その導入として今回はICTを学んだ。実習で学んだ方法とはかけ離れた測量やVRの技術に触れることが

でき、発展した科学技術に驚かされた。

この技術を利用すれば、作業の効率化や新たな試みが可能であるであろうが、複雑化した作業のメカニズムを理解することが非常に困難だと感じた。」等の感想が寄せられました。

昨年来高い評価をいただいた講義は、今年度も12月1日から22日まで4講座を予定しています。



就労支援事業に伴う上伊那農業高等学校2年生測量実習

南信支部

【日時】令和4年12月2日

【場所】上伊那農業高等学校敷地内

座学の「測量・設計という仕事」では、公共事業の上流部に位置する測量設計業務は「未来を創る始まりの仕事」を十分に理解してくれました。

平面測量・縦断測量・横断測量を実施して、それを基に平面線形を入れ縦断計画を設計し、続いて横断設計を行うプロセスを伊那バイパスの例を用いて説明しました。

続いて行った測量実習では、南信支部伊那地区の各社から派遣された11名の技術者が、基準点測量・水準測量の実践指導を行いました。

また、3Dスキャナーで教室内を3D化して見せたり、

UAVによって撮影した教室棟を3Dの点群データで見せると「オーっ!」という歓声が上がりました。

生徒たちは、最新の測量機器に触れ、操作が容易で性能が高いことに驚き、測量技術に興味深く、熱心に学んでいました。

昨年の3年生の進路は、建設業界へは建築系に1名、土木系公務員1名と振るわなかったようですが、今年度は是非我が業界に入職してほしいところで

す。

今年の実習は、令和5年1月19日に実施します。



測量設計についての講義

南信州BIM/CIM研修会

南信支部

【日時】令和4年10月19日

【場所】駒ヶ根市アイパル

国土交通省が平成28年度より「ICTの全面的な活用」により建設生産システム全体の生産性向上を図ることを目的として進めているi-Constructionでは、2023年までに小規模を除くすべての公共事業でBIM/CIMを原則適用することを決定しています。

設計図書の3D化、工事でのICT施工を理解しないと、今後業務に支障が出ることから、研修会を開催しました。長野県4事務所にお声掛けをさせていただいたところ技術職員の方々も研修に参加していただき、レベルの高い研修ができました。



講習会場の状況

協会・委員会活動について

1. ホスピタリティー（法令遵守）研修会

総務広報委員会

【日時】令和4年5月11日（水）

【場所】ホテル長野国際21

ホスピタリティー研究の第一人者である高野登氏を講師に招き、一部対面のWeb配信方式で研修会を実施しました。



普段聞くことの出来ない企業経営者向けの「社員への言葉かけ」、「マネジメント」、「人材育成のポイント」、「評価される企業」について講義いただき、貴重かつ、企業経営者にはとても重要な内容で、聴講された会員から素晴らしいお話だったという声が多数ありました。

この講義を活かし、今後、各社の一層の発展に繋がればと思います。

新型コロナウイルスの感染症ため、2年間開催できませんでしたが、今後もこのような研修会が継続して開催できることを願います。



2. 測量士・測量士補受験対策講習会

技術委員会

【日時】令和4年4月2日・3日及び4月16・17日

【場所】長野会場：トイゴ

飯田会場：測量士 ホテル弥生

測量士補 (株)コバコン

今年も長野市と飯田市で「測量士・測量士補受験対策講習」を開催しました。

講師は例年お願いしている東海工業専門学校金山工から成田先生と宮内先生をお迎えして、過去問題を中心に準則に基づいた受験対策講座を実施しました。

昨年に引き続き、高校生の就労促進事業として、長野工業高校の生徒の4名も測量士補の講習を受けました。

2日間の受験対策講座を受講した会員企業受講生は、長野市会場と飯田市委場で測量士受講者49名

中、合格者7名（合格率14%）、測量士補受講者51名中、合格者30名（合格率59%）という結果でした。やはり測量士は狭き門です。



(株)コバコン研修室で測量士補講習中！

3. 災害復旧事業技術者講習会

技術委員会

【日時】令和4年5月27日

【場所】ザ・ハーモニーホール（松本市音楽文化ホール）
メインホール

【参加者】（一社）長野県測量設計業協会会員340名
建コン11名、会員外23名

【演題及び講師】

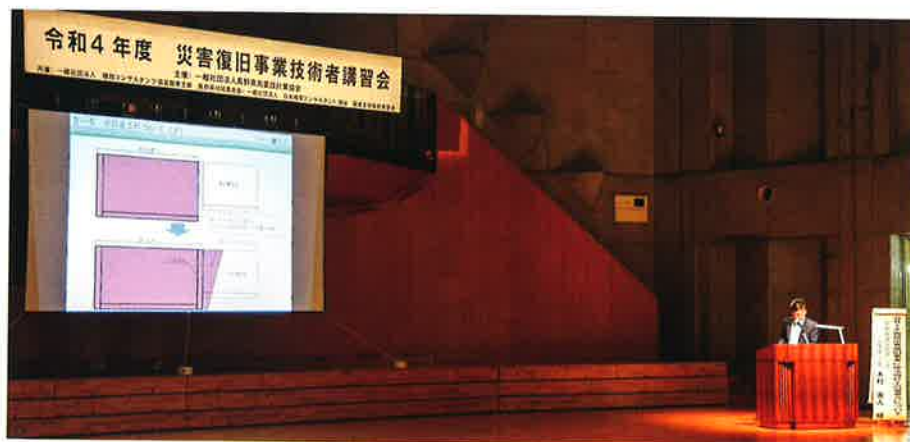
1. 災害採択について（技術的留意事項）長野県河川課
講師：長野県建設部河川課 木村主査
2. 流域治水の推進について
講師：長野県建設部河川課 土屋企画幹
3. 農地・農業用施設災害復旧事業の制度について
講師：長野県農政部農地整備課 二木補佐
4. 関東地方整備局の防災対策の取り組みについて
講師：関東地方整備局災害対策マネジメント室
青木室長
5. 労働災害防止対策について
講師：新保労働安全コンサルタント事務所
新保所長

今年度の講習会は、昨年度のように新型コロナウイルス感染防止対策として会場収容人数を1/2に制限することなく開催できました。

しかし、3密、消毒等については徹底して行って実施し、その結果、クラスターや感染者の発生もなく無事開催することができました。

長野県建設部河川課の土屋企画幹からは、今まで独自で行っていた、砂防や治水等の事業について、集水域や河川区域だけでなく、氾濫域も含めて、市町村や民間事業者、県民などの流域の関係者全員が協働して、治水対策（ハード・ソフト）を推進する「流域治水」という新たな施策を具体的に講義いただきました。

気候変動の影響による降雨の変化により、水害が頻発化・激甚化する中、この新たな取り組みの重要性を強く感じました。



協会・委員会活動について

4. 地理空間情報専門技術講習会 (写真測量B課程I・IIコース) 及び同認定試験

技術委員会

【日時】長野会場：令和4年7月4日～8日
松本会場：令和4年12月5日～8日

【場所】長野会場：長野市JAビル
松本会場：松本商工会議所

長野県発注の測量業務に対応する必要に迫られ、技術委員会が（公社）日本測量協会に依頼し、長野県測協独自の開催企画として実現した講習会・試験です。

JA長野会場では、同時開催のサテライト会場である（公社）日本測量協会研修室より講師の講義をWeb配信方式で実施しました。

一方、松本会場では通常の対面方式により、講師より講義を受けました。

今後の公共測量発注業務の受注に関係するだけ

に、非常に多くの会員企業の社員が真剣な面持ちで受講、受験しました。



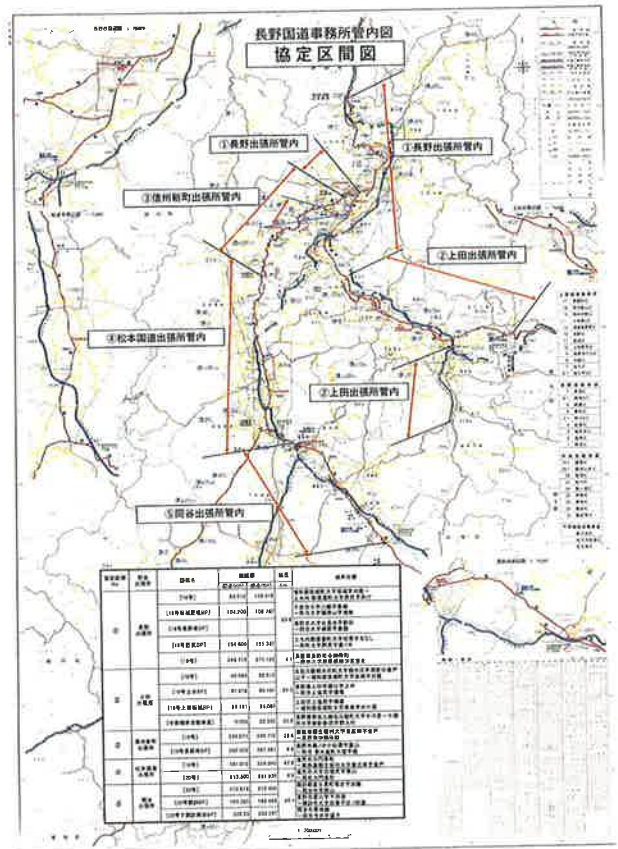
松本会場の講義の様子

5. 無人航空機による災害応急対策活動 (撮影等) に関する協定

危機管理委員会

長野国道事務所が管理する道路施設等に災害等が発生した場合または、発生の恐れがある場合に、無人航空機及びオペレータによる災害応急対策活動（撮影等）により、詳細な被災状況を把握し、被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に資することを目的として、令和4年3月29日に国土交通省関東地方整備局長野国道事務所と一般社団法人長野県測量設計業協会で、無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）の実施に関する協定（ドローン協定）を締結しました。

今後は、河川災害のみならず、道路の災害発生時にも、会員企業がいち早く現場へ駆け付け、被災状況をドローンにより撮影し、早期の復旧に貢献できるよう取り組んでいきます。



会 員 名 簿

支部	会 員 名 (代表者名)	所 在 地	電話番号 / FAX 番号 E-mail
北 信 支 部 (18 社)	(株)伊藤測量設計 伊藤 裕 (副支部長)	〒380-0928 長野市若里3丁目10-10	TEL.026(254)7154 FAX.026(254)7169 ito-suv@vmail.plala.or.jp
	(株)内田測量 内田 哲郎	〒388-8004 長野市篠ノ井会13-3	TEL.026(292)0539 FAX.026(292)8181 uchida.s@vesta.ocn.ne.jp
	(有)エヌ・テック 中沢 清光	〒381-0042 長野市稲葉3-37-12 横山ビル2F	TEL.026(244)0699 FAX.026(244)0626 ntec@coral.ocn.ne.jp
	環境都市設計(株) 岡田 すが子(伴野 節男) (危機管理委員)	〒380-0815 長野市大字鶴賀田町2396-1	TEL.026(238)2368 FAX.026(238)2369 eud@eud.co.jp
	(株)共栄測量設計社 松林 直人	〒381-0012 長野市大字柳原344-3	TEL.026(243)5549 FAX.026(243)5965 yamamoto-y@kyoei-sv.net
	(株)協同測量社 中澤 健爾(吉田 敬一) (総務広報副委員長)	〒380-8577 長野市安茂里671	TEL.026(226)5691 FAX.026(228)8858 KYODO@kyo-soku.co.jp
	黒田整地開発(株) 黒田 博	〒381-0012 長野市柳原1494-7	TEL.026(217)2776 FAX.026(252)5228 h-hilow10@silc.plala.or.jp
	国土監理(株) 安藤 達也 (副支部長)	〒381-0025 長野市大字北長池1756-1	TEL.026(263)0656 FAX.026(263)1390 kokudost@k-kanri.co.jp
	(株)国土設計 駒村 信夫 (理事兼支部長)	〒380-0912 長野市稲葉日詰沖1783-1	TEL.026(221)4330 FAX.026(221)8991 kokudo-s@kokudo-s.co.jp
	(有)三栄測地 間嶋 義明	〒380-0912 長野市稲葉日詰沖1783-1	TEL.026(221)5866 FAX.026(221)5101 sanei@janis.or.jp
	(株)サン環境計画 武田 和幸(宮島 邦彦) (理事兼危機管理委員長)	〒380-0921 長野市大字栗田653-53	TEL.026(217)4220 FAX.026(217)4228 info@sunkankyo.co.jp
	三共技研(株) 村澤 修二	〒381-0043 長野市吉田2-4-37	TEL.026(243)8822 FAX.026(243)0329 info@sankyo-gk.jp
	(有)須高測量 上原 康夫	〒382-0025 須坂市大字豊丘4-2	TEL.026(248)1241 FAX.026(248)8735 s_survey@avis.ne.jp
	(株)中央測量 浦野 泉	〒389-2253 飯山市飯山1108	TEL.0269(62)4177 FAX.0269(62)2261 i-urano@chuo-survey.com
	(有)長測技術 小林 善治	〒380-8008 長野市合戦場2丁目137-4	TEL.026(292)7838 FAX.026(292)7839 chousoku@mx1.avis.ne.jp
	長野技研コンサルタント(株) 白田 裕一 (技術委員)	〒381-2204 長野市真島町真島1292	TEL.026(283)2304 FAX.026(283)2305 ngcck@avis.ne.jp
	(有)中村測量設計事務所 中村 利通	〒380-0943 長野市大字安茂里1823	TEL.026(226)7033 FAX.026(226)8033 naka-s-n@mx1.avis.ne.jp
	(有)山本測量 山本 洋輔	〒381-2405 長野市信州新町新町1377	TEL.026(262)2831 FAX.026(262)2853 yosuke@yamasoku.com
東 信 支 部 (12 社)	(株)アクロス 市川 友一(市川 九一) (副支部長)	〒385-0052 佐久市原138-12	TEL.0267(64)8550 FAX.0267(64)8551 across@cpost.plala.or.jp
	(株)浅間エンジニアリング 安原 隆雄	〒385-0051 佐久市大字中込3764-1	TEL.0267(62)8261 FAX.0267(62)1822 asama-eg@sas.janis.or.jp
	(有)イー・ティー・シー企画 清水 博志 (総務広報委員)	〒384-0304 佐久市北川525-11	TEL.0267(82)6698 FAX.0267(82)6761 etc@rose.ocn.ne.jp
	(株)総和コンサル 清水 祐一	〒385-0016 佐久市大字鳴瀬1131-1	TEL.0267(68)4788 FAX.0267(68)5133 souwa@lily.ocn.ne.jp
	(有)タイム社 福島 敬和 (危機管理委員)	〒385-0011 佐久市猿久保127-6	TEL.0267(66)0039 FAX.0267(66)0029 info@time-inc.jp
	(株)タイヨーエンジニア 佐藤 芳明 (会長)	〒389-0512 東御市滋野乙1302	TEL.0268(62)1700 FAX.0268(62)2721 sato@taiyoeng.co.jp
	日測設計(株) 山本 元栄 (技術副委員長)	〒384-0016 小諸市八幡町1-4-16	TEL.0267(23)6001 FAX.0267(25)5842 yamamoto@nissoku.com
	(株)フジ技研 井出 一彦 (監事)	〒386-0002 上田市住吉104-1	TEL.0268(25)1047 FAX.0268(25)5563 fujigkn@fjnetwork.co.jp
	(株)みすず総合コンサルタント 増沢 延男	〒386-1102 上田市上田原1073-4	TEL.0268(24)8230 FAX.0268(24)8353 msc06@e-misuzu.com
	(株)モテキ 小池 文人 (理事兼支部長兼総務広報委員)	〒385-0051 佐久市大字中込3421-50	TEL.0267(62)7701 FAX.0267(62)6459 info@k-moteki.com
	(株)ユーアール測量設計 川上 陽次郎	〒384-0027 小諸市六供1-3-17	TEL.0267(22)8841 FAX.0267(22)2856 ur-sv@ctknet.ne.jp
	(有)ワイエムテック 木内 政彦	〒385-0061 佐久市伴野1639-21	TEL.0267(63)1528 FAX.0267(63)1539 ymtec@abelia.ocn.ne.jp
中 信 支 部	(株)アスカエンジニア 下條 広行	〒397-0001 木曾郡木曾町福島2637-1	TEL.0264(23)2695 FAX.0264(24)2695 asukae@plum.ocn.ne.jp
	(株)アズエンジニア 吉竹 行仁 (副会長)	〒398-0002 大町市大町3276-1	TEL.0261(22)4575 FAX.0261(22)0698 info@aen.co.jp
	(株)あづみ野開発コンサル 赤羽 明彦	〒399-8205 安曇野市豊科2568-1	TEL.0263(72)7217 FAX.0263(73)0501 info@akconsul.com
	(株)アンドー 坪井 利幸 (理事兼支部長)	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263(48)0480 FAX.0263(48)0009 andoh@kkandoh.co.jp
	(株)奥原調査設計 奥原 広明	〒397-0002 木曾郡木曾町新開2662-1	TEL.0264(23)2433 FAX.0264(24)2780 kokuhara@fancy.ocn.ne.jp
	(有)金井測量設計事務所 金井 治夫 (副支部長)	〒399-7402 松本市会田706-1	TEL.0263(64)2073 FAX.0263(64)4079 kanaissj@dh.mbn.or.jp
	(株)けいかく 太田 大三	〒390-0303 松本市浅間温泉3-2-8	TEL.0263(46)5225 FAX.0263(46)5154 kei@po.mcci.or.jp
	(株)山光測舎 白澤 一清	〒398-0003 大町市社6268-1	TEL.0261(22)9851 FAX.0261(23)3577 sanko@lily.ocn.ne.jp
	大成測量設計(株) 下里 守 (副支部長)	〒399-8301 安曇野市穂高7602-3	TEL.0263(50)8601 FAX.0263(50)8602 v-taisei@mx2.avis.ne.jp

会 員 名 簿

支部	会 員 名 (代表者名)	所 在 地	電話番号 / FAX 番号 E-mail
17社	(株)中央工研 矢ヶ崎 恒夫	〒390-0852 松本市大字島立978-1	TEL.0263(47)8631 FAX.0263(47)8632 kikaku@ccer.co.jp
	中部測量(株) 上水 茂子 (技術副委員長)	〒390-1701 松本市梓川橋3085-1	TEL.0263(78)5522 FAX.0263(78)5533 chubu-ar@mx1.avis.ne.jp
	(株)中部日本測量社 今井 久一	〒390-0221 松本市大字里山辺1823-4	TEL.0263(32)7320 FAX.0263(32)7229 kk.tns@vega.ocn.ne.jp
	(株)長野技研 中嶋 孝満 (寺澤 慶一) (危機管理委員)	〒390-1241 松本市大字新村2326	TEL.0263(47)7677 FAX.0263(47)6503 soumu@naganogiken.co.jp
	(株)日研コンサル 谷本 直樹 (総務広報委員)	〒390-0841 松本市渚2-5-6	TEL.0263(26)6470 FAX.0263(27)2614 info@nikkenc.co.jp
	深志測量(株) 横山 敏雪	〒390-0852 松本市大字島立1080-7	TEL.0263(47)6501 FAX.0263(47)4742 soumu@fukashi-survey.jp
	(株)マイクロ 後澤 伸之	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263(48)0339 FAX.0263(48)0439 gozawa@kkmicro.co.jp
	(株)ミズホエンジニア 中村 功	〒399-8304 安曇野市穂高柏原1019-1	TEL.0263(82)8458 FAX.0263(82)4186 mizuho-eng@mzh-eng.co.jp
	(株)アルプス 名取 洋史 (副支部長)	〒394-0031 岡谷市田中町1-4-26	TEL.0266(22)5514 FAX.0266(22)5524 alps@cocoa.plala.or.jp
	(株)飯田コンサルタント 下平 勝史	〒395-0822 飯田市松尾寺所7343	TEL.0265(22)0100 FAX.0265(22)0541 daihyo@iicon.co.jp
	(有)井戸測量 大平 俊家	〒395-0004 飯田市上郷黒田5843	TEL.0265(23)5793 FAX.0265(22)4555 idosokuryou@sunny.ocn.ne.jp
	(株)伊那測量 守屋 美喜男	〒396-0022 伊那市御園1298-2	TEL.0265(72)3966 FAX.0265(72)4105 i7so9@rose.ocn.ne.jp
	栄和測量(株) 矢澤 久実	〒395-0801 飯田市鼎中平2887-1	TEL.0265(24)1079 FAX.0265(24)1078 eiwa1@crocus.ocn.ne.jp
	(株)長姫 森脇 慎一郎 (危機管理副委員長)	〒395-0154 飯田市下殿岡206	TEL.0265(25)8855 FAX.0265(25)8860 soumu@kc-osahime.co.jp
	長姫調査設計(株) 藤澤 亘	〒395-0071 飯田市今宮町4-20	TEL.0265(23)3666 FAX.0265(23)3680 o-c-s@giga.ocn.ne.jp
	技建開発(株) 武井 清彦	〒395-0151 飯田市北方1313-2	TEL.0265(22)9585 FAX.0265(22)8320 eigyobu@gkc.co.jp
	(株)北国コンサル 北原 正人	〒399-4431 伊那市西春近9099	TEL.0265(72)6458 FAX.0265(72)6499 rep@kitakuni.co.jp
(株)北測 北原 勝美	〒399-4431 伊那市西春近下島2875-3	TEL.0265(72)3704 FAX.0265(72)3746 kitasoku@cocoa.ocn.ne.jp	
(株)協同コンサル 中村 知貴	〒393-0047 諏訪郡下諏訪町西赤砂4348-9	TEL.0266(27)7111 FAX.0266(27)7138 mail@kyoucon.co.jp	
(株)計測エンジニアリング 関 稔	〒399-2565 飯田市桐林1737-3	TEL.0265(26)3012 FAX.0265(26)8831 info@keisokueng.jp	
(株)コバコン 小林 佳人 (総務広報委員)	〒399-2431 飯田市川路7527	TEL.0265(27)5250 FAX.0265(27)5220 kobayashi@kobacon.co.jp	
(株)ジッソク 溝口 豊 (技術委員)	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂1378-2	TEL.0265(82)2328 FAX.0265(82)5052 mizoguchi@jissoku.jp	
(株)ゼンシン 境澤 昌志	〒399-4115 駒ヶ根市上穂栄町13-7	TEL.0265(83)4865 FAX.0265(83)9728 tanaka@k-zensin.co.jp	
(株)中部測地研究所 藤森 雄一	〒392-0131 諏訪市湖南801-1	TEL.0266(58)0304 FAX.0266(58)9515 info@chubusokuchi-lab.co.jp	
(株)藤測 松村 忠次 (副支部長)	〒395-0806 飯田市鼎上山4040-1	TEL.0265(23)1522 FAX.0265(23)4810 t_sk@tohsoku.co.jp	
(株)ナカタ 唐木 暢彦	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂16705-9	TEL.0265(85)4517 FAX.0265(85)4518 contact@nakatass.com	
馬場測量設計(株) 馬場 規生 (副支部長)	〒396-0014 伊那市狐島4012	TEL.0265(78)8111 FAX.0265(78)8112 babasoku@inacatv.ne.jp	
(有)吉川測量設計事務所 廣瀬 大介	〒395-0046 飯田市扇町17	TEL.0265(53)4808 FAX.0265(53)4809 ykss@tbz.t-com.ne.jp	
(株)理財 佐々木 宣久	〒396-0012 伊那市上新田2557-1	TEL.0265(72)1126 FAX.0265(78)0434 rizai@aurora.ocn.ne.jp	
(株)緑地計画 福澤 浩 (理事兼支部長兼技術委員長)	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂14616-67	TEL.0265(83)7744 FAX.0265(83)7745 info@land-lab.co.jp	
(株)嶺水 小山 忠孝 (副会長)	〒395-0003 飯田市上郷別府182-1	TEL.0265(23)3000 FAX.0265(22)6546 gis@reisui.co.jp	
(株)ワイド 加納 一憲	〒396-0026 伊那市西町5845-1	TEL.0265(78)7533 FAX.0265(78)6742 wide@cc-wide.co.jp	
(株)いと 高村 和則	〒381-0024 長野市南長池498-1	TEL.026(221)4101 FAX.026(221)5313 webmaster@itoh.co.jp	
カシヨ(株) 奥山 哲	〒381-0037 長野市西和田1-27-9	TEL.026(251)0510 FAX.026(251)0500 kashiyo@kashiyo.co.jp	
(株)シー・ティー・エス 横島 泰蔵	〒386-0005 上田市古里115	TEL.0268(26)3700 FAX.0268(26)2102 kurumi@cts-h.co.jp	
(有)プラス・ワン 西山 求男	〒381-2233 長野市川中島町上氷鉦1574-1	TEL.026(284)7442 FAX.026(284)7461 info@plus1-n.com	
(株)ちとせ保険事務所 小澤 洋二	〒380-0921 長野市栗田182-1 MKビル2F-C	TEL.026(224)1585 FAX.026(224)1610 info@chitose-hoken.com	
(株)高見澤 高見澤 秀成	〒381-0211 上高井郡小布施町雁田1262-13	TEL.026(247)5711 FAX.026(247)5066 y.saitoh@kk-takamisawa.co.jp	

信州BIM/CIM推進協議会の動き

■はじめに

BIM/CIMは、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入することにより、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ることを目的としています。

最新のICTを活用して、建設生産システムの計画、調査、設計、施工、管理の各段階において情報を共有することにより、効率的で質の高い建設生産・管理システムを構築します。

それにより、ミスや手戻りの大幅な減少、単純作業の軽減、工程短縮等の施工現場の安全性向上、事業効率及び経済効果に加え、副次的なものとしてより良いインフラの整備・維持管理による国民生活の向上、建設業界に従事する人のモチベーションアップ、充実感等の心の豊かさの向上が期待されています。

国土交通省では2023年から小規模公共事業以外の原則適用に向け、建設業界・調査設計業界だけでなく地方自治体においても、知識の習得や機器の配備、体制の構築など対応が求められ、公共事業の上流部に位置する測量・調査・設計を担当する私ども

の業界は待ったなしの状態に入っています。今回は、BIM/CIMに対応するべく活動している信州BIM/CIM推進協議会の動きをレポートします。

■信州BIM/CIM推進協議会の発足

信州BIM/CIM協議会は令和元年度に発足し、令和3年度までは長野県技術管理室と建設コンサルタント、信州大学工学部、長野高専を中心として、年数回程度BIM/CIMに関する講習会や研修を開催していました。それを受けて、(一社)長野県測量設計業協会理事会では測量調査の段階からBIM/CIMに取り



信州BIM/CIM推進協議会

・参加団体を拡大

【既参加団体】

- ・(一社)建設コンサルタント協会
- ・(大)信州大学工学部
- ・(独)長野高専
- ・関東地整 長野国道事務所
- ・長野県

+

【追加団体】

- ・(一社)長野県測量設計業協会
- ・長野県地質ボーリング業協会
- ・(一社)長野県建設業協会
- ・NPO法人長野県ITアドバイザーセンター
- ・(公財)長野県建設技術センター

・部会を設置し、長野県モデルの構築に向けて調整を行う。

測量・設計部会

地質部会

建設部会

電子納品部会

&

実務者会議(若手部会)

TOPICS

組むべきとの結論から、信州BIM/CIM推進協議会に参加することを決定しました。令和3年度から長野県測量設計業協会、長野県地質ボーリング業協会、長野県建設業協会、長野県建設技術センターが加入し、当協会からも各支部より3名程度を選出して、「測量・設計部会」、「地質部会」、「建設部会」、「データ活用部会」の4つの部会に加盟して活動を開始しました。また、これらの4つの部会を横断的に連携サポートする「BIM/CIM推進委員会」を設置しています。



令和2年度成果発表会

これまでの主な取り組み

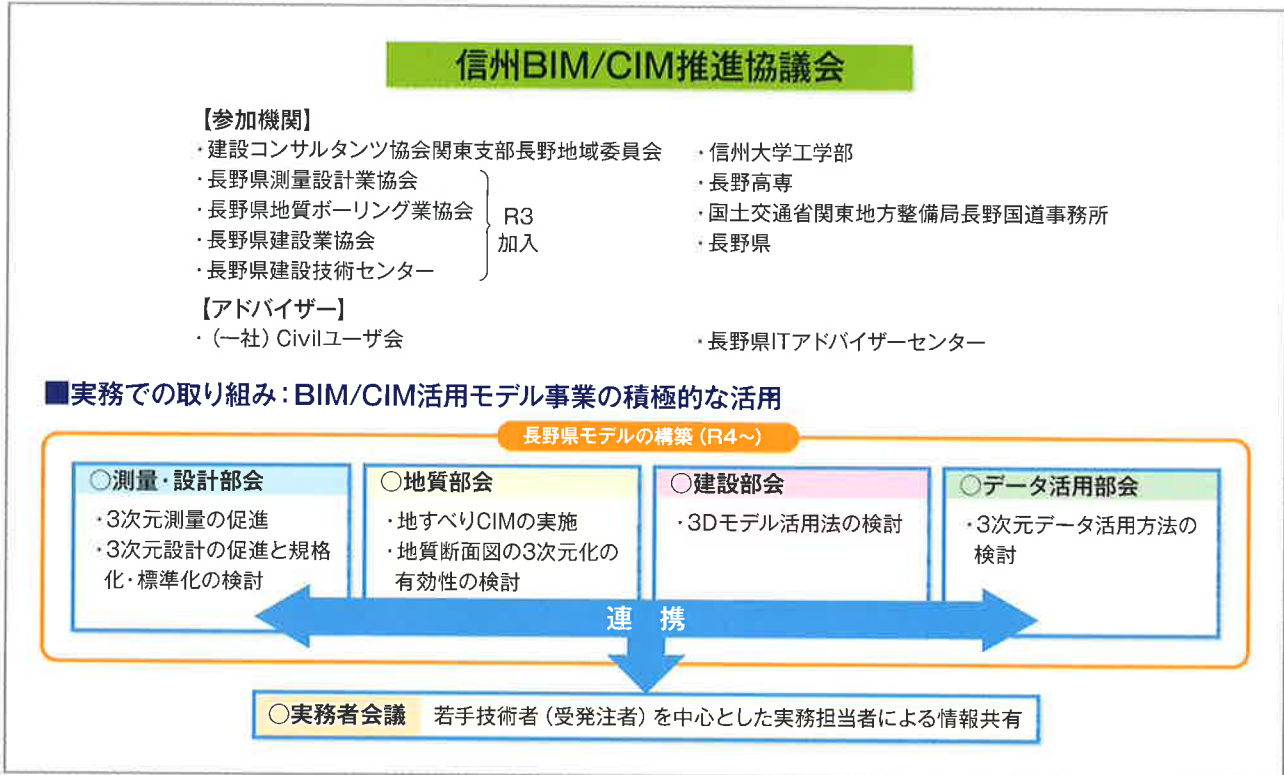
令和元年8月27日	長野県が進めるBIM/CIMに関する講演会（※設立準備会として実施）
令和元年10月31日	「信州BIM/CIM推進協議会」設立
令和元年12月24日～ 令和2年2月18日	長野県が進めるBIM/CIMハンズオン講習会（全6回）
令和2年11月1日～ 11月30日	令和2年度 長野県のBIM/CIMを推進するためのWeb研修会（※CAD研修）
12月2日	長野県が進める BIM/CIMに関するオンライン研修会
令和3年2月19日	BIM/CIMの最新動向と令和2年度成果発表会【ライブ配信】
4月21日	BIM/CIM推進協議会 実務者会議（第1回）オンライン座談会
7月16日	第1回 地質部会（※地質ボーリング業協会：BIM/CIM方針確認）
9月29日	第2回 地質部会（※地質ボーリング業協会：3Dソフト勉強会）
12月22日	令和3年度 第2回 信州BIM/CIM推進協議会 実務者会議（意見交換会）
令和4年1月28日	信州BIM/CIM推進協議会 勉強会in松本
3月25日	信州BIM/CIM推進協議会 第1回総会（※体制強化規約改定）
4月28日	信州BIM/CIMトークライブ（第1回）
5月25日	〃 トークライブ（第2回）
6月9日	〃 トークライブ（第3回）
6月29日	〃 トークライブ（第4回）
7月14日	第3回 信州BIM/CIM推進協議会 実務者会議
7月27日	信州BIM/CIMトークライブ（第5回）
8月10日	〃 トークライブ（第6回）
8月24日	〃 トークライブ（第7回）
9月5日	第1回 推進委員定例会
9月7日	信州BIM/CIMトークライブ（第8回）
9月12日	第1回 測量設計部会
9月14日	第3回 地質部会
9月21日	信州BIM/CIMトークライブ（第9回）
9月27日	第1回 建設部会
10月5日	信州BIM/CIMトークライブ（第10回）
10月19日	〃 トークライブ（第11回）
11月1日	〃 トークライブ（第12回）※部会意見交換
11月15日	BIM/CIM現場見学会（上田BP：長野国道事務所）
11月17日	信州BIM/CIMトークライブ（第13回）※事例紹介
11月30日	〃 トークライブ（第14回）

信州BIM/CIM推進協議会

令和4年度の取り組み内容

■部会員と推進委員の設置

- ・信州BIM/CIM推進協議会 第1回総会（令和4年3月25日）の規約改定を受け体制強化



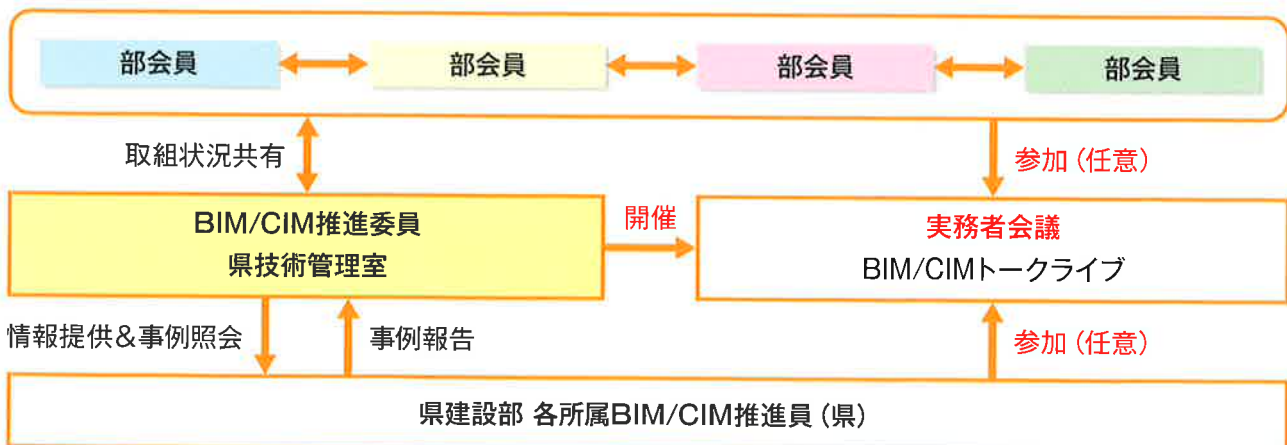
信州BIM/CIM推進協議会

令和4年度の取り組み内容

■部会員と推進委員の設置

- ・部会の活動内容を横断的に共有するために、「部会員」と「BIM/CIM推進委員」を設置
- ・県の建設部において各所属ごとに「BIM/CIM推進員（県）」を設置

(※イメージ)



TOPICS



R4 第2回実務者会議

■取り組み内容

(1) BIM/CIMの知識・技術の習得

- ・若手技術者を中心とした実務者会議の実施
- ・専門的検討を行う部会の実施
- ・技術習得のための各種研修会の実施

(2) 専門部会間の連携強化

- ・測量・調査・設計から施工・維持管理まで、一連の技術を共有

- ・県発注の業務・工事をもとに、取組や課題を共有
- ・国土交通省の取組について情報を共有
- (3) BIM/CIM技術の普及拡大
 - ・民間企業等へのBIM/CIM技術支援
 - ・信州大学、長野高専とのBIM/CIM技術の情報共有
 - ・市町村等へのBIM/CIM技術の普及検討

※写真, 挿入図は長野県技術管理室提供

編集後記

もうコロナという言葉を書きたくないところ、未だその終息は見通すことが出来ない状況です。しかしながら、社会を見渡せば、既に以前の日常の風景に戻りつつもあります。

コロナ発生後の活動が制限された中でも、我々協会員は、可能な活動を地道に続け、地域のライフラインの整備、各施設の維持管理の基礎となる調査について精力的に取り組んでいます。

また、本協会には、新たな会員として(有)ワイエムテックさん、(株)中部測地研究所さん、また賛助会員として(株)高見澤さんに参加いただきました。ご事情で1社が退会されましたが、会員総数77社（正会員71社、賛助会員6社）の皆様により「信州の未来を創造する測量設計」のスローガンに向け、一丸となって活動を行ってまいりたいと思っています。

総務広報委員会

一般社団法人 長野県測量設計業協会

〒380-0838 長野市南長野県町484-1 (センターポア702)

TEL.026-233-5078 FAX.026-233-5089

<http://www.chosokkyo.jp/>

E-mail : chosokkyo@seagreen.ocn.ne.jp

